

「トランススイート四季島」のおもてなしに
感謝状をいただきました

6月3日、JR東日本の豪華寝台列車「トランススイート四季島」の乗客へのおもてなしが特に優れていたとして、JR東日本仙台支社から感謝状をいただきました。

市では、トランススイート四季島が鳴子温泉駅に立ち寄り始めた平成29年から、実行委員会を立ち上げ、出迎えや見送り、地場産品の振る舞いなどを行ってきました。

感謝状は「トランススイート四季島受け入れ大崎市実行委員会」に対するもので、市役所を訪れた、古津仙台支社営業部長からいただきました。

古津営業部長から「毎回多くの関係者の皆さまに歓迎をいただき、市内各地域の特色を生かしたおもてなしに乗客も感激しています。おもてなしの取り組みは、ほかの地域でも行われていますが、組織化され取り組まれているのは大崎市が唯一です。今後も観

光のリーダーシップをとっていただきたい」と感謝の気持ちで伝えられました。

感謝状を受けた伊藤市長は「市内全地域をあげた取り組み。過大な評価をありがたく思います。今後も訪れる人たちをお迎えしたい」と話しました。

本年度は、四季島の車両検査のため、12月に6回の立ち寄りが予定されています。

皆さんも四季島の「お出迎え」お見送り」でおもてなししてみませんか。



▲感謝状を受ける伊藤市長(左)とJR東日本仙台支社古津営業部長

「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」
アンバサダーに選ばれました!

「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」は、農山漁村で地域活性化に取り組む優良事例を全国に発信するため、内閣官房と農林水産省が平成26年から開催しています。

昨年10月には、本市の「大崎の米『ささ結』ブランドコンソーシアム」(以下、ブランドコンソーシアム)が、高価格帯での『ささ結』の販売や、純米大吟醸酒『ささ結』の販売、ササニシキ系食味コンテストの実施などが評価され、東北第1位で選定されています。

6月7日、東京都内で「デイスカバー農山漁村(むら)の宝サミット」が行われ、全国のデイスカバー選定事例や商品のPR活動を担う「アンバサダー」として、ブランドコンソーシアムの『ささ結』生産者鈴木至さんが選ばれました。鈴木さんは、平成26年から選定された全国143地区の関係者から、「アンバサダー」



▲サミットで表彰を受けるアンバサダーの鈴木さん(写真右)

に選ばれています。審査は、農業や商品に懸ける思いのPRや、インスタグラム(写真共有アプリケーション)に投稿したPR動画に対する「いいね!」の数などで行われ、全国から上位2人がアンバサダーとして発表されました。今後は、全国の若手農林水産業従事者の代表として、全国や世界へ、日本の農山漁村の魅力を発信する活動に従事します。市では世界農業遺産「大崎耕土」の地として、農業・林業に携わる若手就農者を今後も支援していきます。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



三本木発

FM83.5MHzから地域情報をお届け

6月15日、おおさきエフエムでオープントークが放送されました。放送は、古川七日町西地区の再開発事業に伴い、三本木庁舎1階へ放送局を移転したことを記念したものです。

移転に当たっては、市民から「6年間お疲れさまでした。三本木に見に行ってもいいですか?」など多数のファクスが届いたそうです。

おおさきエフエムは、地域のイベントや暮らしに役立つ情報、災害などの緊急情報などを日々放送しています。メインパーソナリティの栗田さんは「誰でも参加でき、地域みんなで作る地域密着型のラジオにしていきたい」と話していました。

新しくなったおおさきエフエム(FM83.5メガヘルツ)に、耳を傾けてみませんか。



▲栗田さん(写真中央)と話すゲスト(写真右)。おおさきエフエムの雰囲気が気に入り、訪れたそうです

鹿島台発

世界に一つのお皿!何を乗せる?

6月15日、「親子陶芸教室」が鹿島台公民館で行われ、17人が参加しました。

この日は、鹿島台地域で活動する「陶芸教室ひまわり」の皆さんを先生に、粘土から成形。アジサイ・キウイ・ウルイなどの葉っぱから模様を映した葉皿と、はし置き・ペンダントなどを型取りしました。



▲丁寧に型取り、なめらかなお皿を目指します

模様の映し方、粘土の厚みとくぼみ、皿の反り具合と、少しの作業で表情が変わる陶芸の世界には、こだわりがつきもの。大人も子どもも関係なく、個性を表現する時間に没頭していました。

作品は、鹿島台公民館 創作館内の電気・ガス釜で焼き上げ、7月末にお披露目されます。参加者は「焼きおにぎりを乗せたい!」「目玉焼きは乗るかな?」と話していました。自分で作ったお皿で食べるご飯は、ひとときわおいしく頂けそうです。完成が楽しみです!

鳴子温泉発

ご当地グルメのおいしさ てんこ盛り!

6月15日・16日、「おおさき食楽まつり2019」が鳴子峡レストハウス前で開催され、山と海の幸を味わう人々にぎわいました。

毎年、食楽まつりには、なる子ちゃんご鍋、ブルーベリー、きのこ汁など鳴子温泉地域の名物や、石巻市や蔵王町から、普段は現地では味わえないご当地グルメが約50店舗も駆けつけます。一度にこれほど多くのグルメが味わえる食の祭典に、毎年多くの人が訪れます。

今年はいにくの天候となりましたが、来場者は両手いっぱい県内の美味しいグルメを買占め、食べ歩きを楽しんでいました。



▲温かい汁ものを提供する店に人が集まりました

2019	23日	17日	15日	13日	7日	4日	3日	2日	6月の主な出来事
	●大崎市江合川流域水防演習	●田尻総合支所新庁舎棟上げを祝う会	●おおさき食楽まつり2019(16日まで)	●令和元年第2回大崎市議会定例会開会(28日まで)	●古川地域死亡事故ゼロ6カ月間達成感謝状贈呈式	●大崎の米「ささ結」ブランドコンソーシアム通常総会	●2018年度トランススイート四季島おもてなしに対する感謝状贈呈	●2019大崎市鹿島台デリシャストマトまつり	6月の主な出来事



▶古川地域で6カ月無事故(6月7日時点)を達成し、古川警察署から感謝状が贈られました